

工事住宅をうながす

外断熱改修



プロフィール

特定非営利活動法人外断熱推進会議事務局長。1948年北海道生まれ。長年住宅生協運動に従事。1998年北欧を訪問。2002年NPO外断熱推進協議会を設立。2003年特定非営利活動法人に外断熱におけるセミナー、講演、技術支援、海外視察のプロデュースを行う。

第2回 スウェーデンの外断熱改修

ハンス・エークとの再会

2005年7月27日

より9月4日まで、外断熱推進会議企画・第6回スウェーデン・ドン・ツアーワークと無暖房住宅と外断熱の旅」が実施された。

本年2月、長野・東京・京都・札幌で開催されたハンス・エーク日本セミナーに参加され

た方々から、ハンス・エーク氏の帰国後、無

暖房住宅を実際に見学

したい、外断熱の建物

を見たいとの声がNPOに寄せられたため

ある。ツアーハンス・エークには、当

法人の竹川理事長をはじめ、ゼネコン、デベロッパー、資材メーカー

が、現在の(中古)販売価格は

140万クローナ(3600万円)と言う。

3年間で、約3~5倍

値上がりし

50年間は改修いらす

1、さらに賃貸マンションオーナーなど23名が参加した。

8月28日に最初の訪問地スウェーデン、イエーテボリ市にある工コセンタ

(環境教育を行なう財団が運営)を訪れた。最初に教育担当官のレクチャ

ーを受け内部展示を視察

した。同センターでハン

ス氏と再会を果たし、講

義を受けた後、ハンス氏及び通訳の友子ハンソン

さんと一緒に、リンドーネ地区にある無暖房住宅

を訪れた。リンドーネビ

ユース(無暖房住宅)は、

今回の公開以降、一般に販売されるため、これが最後の見学となる。

尚、この家が最初に売られた時の(居住権)価格は、70万クローナ(1

050万円)であるが、現在の(中古)販売価格は

140万クローナ(3600万円)と云う。

月から始まる予定だ。

次回は、ドイツにお

ける外断熱改修について紹介す

とになった。そのひとつが、アリングソース市プローゴーテン地区の公営住宅が、2008年までにスウェーデン国内で多数建設されるこ

とに、無暖房住宅で採用したクリプトンガラス入り高性能断熱サッシ(0.85W/m²k)を用いる。更に、高性能熱交換装置も採用される。

1970年に建設されたこの共同住宅(築35年)で、今回の外断熱改修を行なうことで、

今後大きな改修を行なわなくても50年間(半世紀)は使えるとハン

スは言う。

参加者から、「日本で厚い断熱材での外断熱改修は、建築基準法の規定で出来ない」との

声に、ハンスは、「エネルギーの事を考えるしかない。これは、政

治の問題であり、経済の問題でもある」と明快に答えた。

この建物を2006年2月から、毎年100戸ずつ無暖房住宅の技術を応用して外断熱改修する計画だ。改修後の建物は、壁の断熱厚さ350mm

の問題でもある」と明確に答えた。

リ、基礎の断熱厚さ25

0ミリとし、バルコニーのビートブリッジ対策(下下を発泡ガラス100ミリで挟む)を行なう。さらに、窓周

りの気密及び断熱をしっかり行なった上で、

窓には、無暖房住宅で採用したクリプトンガラス入り高性能断熱サッシ(0.85W/m²k)

が、アーリングソース市プローゴーテン地区の公営

住宅で、1970年に建設されてから改

修が行なわれていない。

スウェーデンでは、1960年代後半から「10

年間で100万戸の住宅を建設する」100万戸

住宅政策が実施された。

スウェーデンでは、1960年代後半から「100万戸の住宅を建設する」100万戸

住宅政策が実施された。

スウェーデンでは、1960年代後半から「100万戸の住宅を建設する」100万戸

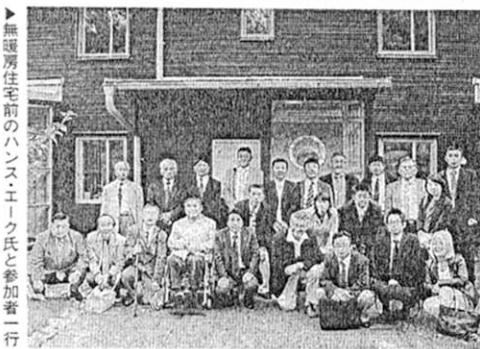
住宅政策が実施された。

スウェーデンでは、1960年代後半から「100万戸の住宅を建設する」100万戸

住宅政策が実施された。

スウェーデンでは、1960年代後半から「100万戸の住宅を建設する」100万戸

住宅政策が実施された。



▶無暖房住宅前のハンス・エーク氏と参加者一行

半世紀先を見据えた改修は政治・経済的にも有用



◀アーリングソース プローゴーテン団地

プローゴーテン地区における外断熱改修は、来年2月から始まる予定だ。次回は、ドイツにおける外断熱改修について紹介す